

UTSSI×IOG合同シンポジウム

超高齢社会を支える 産業創出に向けた産学連携の推進

世界で最も進んでいる超高齢社会である日本において喫緊の課題となっている
フレイル/介護という社会課題に対して、高齢者はもとより、
その予備軍となっている生活習慣病のリスクを抱えている中年層など、
広い世代の人々の健康増進とそれを支える産業をテーマとして、
実際に事業を展開している企業の方々や本学の研究者が描いている世界観を聴講者と共有し、
超高齢社会を支える多種多様な産業創出のきっかけとなることを目指しています。



飯島 勝矢氏
IOG機構長

東京大学未来ビジョン研究センター 教授



中澤 公孝氏
UTSSI機構長

東京大学大学院総合文化研究科 教授

●プログラム

- 開始挨拶/総長メッセージ
- 講演1：フレイル/介護予防研究の最前線とその社会実装
飯島 勝矢氏 (IOG機構長、東京大学未来ビジョン研究センター 教授)
- 講演2：最先端のスポーツ/健康科学を如何にして高齢者の健康増進に展開していくか
中澤 公孝氏 (UTSSI機構長、東京大学大学院総合文化研究科 教授)

○事例紹介1：健康増進やフレイル/介護予防に関する民間事業者の取り組み
登壇者

- ・増本 岳氏 (株式会社カーブスホールディングス 代表取締役社長)
- ・西野 貴智氏 (住友生命保険相互会社 Vitality戦略部長)

○講演3：少子高齢社会のまちづくり

- 小泉 秀樹氏 (東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授)
- 講演4：超高齢社会2.0～高齢者の生活と健康を支えるテクノロジーとその活用
檜山 敦氏 (東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授)

○事例紹介2：健康増進やフレイル/介護予防に関する民間事業者の取り組み
登壇者

- ・田中 元子氏 (株式会社グランドレベル代表取締役社長)、小宮 克己氏 (同スーパーバイザー)
- ・菊川 裕也氏 (株式会社no new folk studio 代表取締役)
- ・内山 奈美氏 (東京大学高齢社会総合研究機構 協力研究員/キューピー(株) 出向)
- ・乾 裕之氏 (東京大学高齢社会総合研究機構 学術専門職員/イオン(株) 出向)

○パネルディスカッション

- 登壇者：(上記登壇者)
- モデレーター：紀伊 信之氏 (株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門
高齢社会イノベーショングループ 部長 (プリンシパル))

【開催概要】

- 主催：東京大学スポーツ先端科学連携研究機構(UTSSI)、東京大学高齢社会総合研究機構(IOG)
- 協力：東京大学未来ビジョン研究センター
- 日時：令和3年7月19日(月) 17時～19時半
- 形式：オンライン (Zoomウェビナー)
- 聴講対象：健康に関連する民間事業者 (主に経営層、新規事業担当者、など)、
専門家 (医療関係者、トレーナー/インストラクターなど)、
自治体担当者 (首長、健康/高齢社会関連部署担当者)、研究者、他
- 定員：300名
- 参加費：無料
- 申込：右のQRコード、または下記URLからお申込みください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN__aJbZrLgRLGvU0Y3U-aeYg



<シンポジウムの内容について>

東京大学スポーツ先端科学連携研究機構
〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 TEL：03-5465-7665 (内線：47665)
E-Mail：office@utssi.e.u-tokyo.ac.jp

東京大学高齢社会総合研究機構
〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 工学部8号館713号 TEL：03-5841-1662
E-mail：info@iog.u-tokyo.ac.jp

<申込方法について>

UTSSI&IOG合同シンポジウム運営事務局 TEL：03-6273-0403 E-Mail：seminar@sports-st.com

講師情報



飯島 勝矢氏
10G機構長

東京大学未来ビジョン研究センター 教授

1990年東京慈恵会医科大学卒業、千葉大学医学部附属病院循環器内科入局、東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座 助手・同講師、米国スタンフォード大学医学部研究員を経て、2016年より東京大学高齢社会総合研究機構教授、2020年より同研究機構教授・機構長、および未来ビジョン研究センター教授



中澤 公孝氏
UTSSI機構長

東京大学大学院総合文化研究科 教授

国立障害者リハビリテーションセンター研究所在職時から長年、脊髄損傷者の歩行機能回復をめざした神経生理学的研究に従事。現職に異動後、スポーツスキルの神経科学研究、スポーツをフィールドとした認知神経科学分野にも研究領域を拡張。近年ではパラリンピック選手の脳研究を一つの柱として、リハビリテーションやスポーツフィールドへの成果還元、社会実装を企図した研究活動を展開している。



増本 岳氏

株式会社カーブスホールディングス 代表取締役社長
株式会社カーブスジャパン 代表取締役会長

神奈川県出身・1964年6月16日生まれ。明治大学政治経済学部卒。18年間の経営コンサルタントとしてのキャリアの中で、数多くのニュービジネス、FCチェーンを育て、また、中堅中小企業の新規事業開発を支援してきた実績を持つ。2004年に米国にて、～女性だけの0分フィットネスクラブ～「カーブス」に出会い、その理念とビジネスに惚れ込む。カーブス創業者Gary heavin氏との交流の中で知遇を得て、2005年2月に「カーブス」の日本での特許展開権利を取得。カーブスジャパン設立、代表に就任。



西野 貴智氏

住友生命保険相互会社 Vitality戦略部 部長

1993年、住友生命に入社。リテール部門・企画部門を経て、2005年に小泉政権下の内閣官房に出向、郵政民営化関係業務に従事。その後、2011年より代理店企画室長、2014年より営業企画室長を歴任、2015年よりVitalityプロジェクトを担当、プロジェクトリーダーとして南アフリカ共和国Discovery社と協力しVitalityの日本市場導入に尽力する。



小泉 秀樹氏

東京大学まちづくり研究室 教授

1964年東京都生まれ。東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了後、1997年から東京大学大学院講師（都市工学）、2000年同助教授を経て、2013年より現職。研究成果をふまえて多くの市民団体、自治体、企業とまちづくりの実践に取り組んでいる。また都市計画提案制度の創設に社会資本整備審議会委員として関与。著書に「コミュニティ・デザイン学」（編著、東京大学出版会）、「コミュニティ辞典（共編著、春風社）」、「スマート・クロス」（共編著、学芸出版社）、「まちづくり百科事典」（共編著、丸善）ほか。グッドデザイン賞など受賞多数。



楢山 敦氏

UTSSI、10G、

東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授

専門は人間拡張工学、バーチャルリアリティ、ロボティクス。100年の一生を通じて参加できる社会を目指し、ひとりひとり、そして地域の「できる」ことを増やすテクノロジーの研究開発に取り組む。シニアの柔軟な働き方を推進するジョブマッチングプラットフォーム「GBER」や、心身を活性化させるVRシステムなどの研究を、社会実装へ向け展開している。Laval Virtual Trophy、IFIP Accessibility Award等受賞。著書に『超高齢社会2.0「クラウド時代の働き方革命」』（平凡社新書）。



田中 元子氏

株式会社グランドレベル代表取締役社長
喫茶ランドリーオーナー

1975年生まれ。建築分野でのライターを経験後、2016年「1階づくりはまちづくり」をモットーに、豊かな1階づくりに特化した株式会社グランドレベルを設立。コンサルティングやプロデュースなどを手がける。2018年墨田区に「喫茶ランドリー」開業。同年グッドデザイン賞グッドフォーカス賞（地域社会デザイン）などを受賞。著書に「マイパブリックとグランドレベル」（晶文社）など。2019年から街にベンチを増やす活動「TOKYO BENCH PROJECT」を始動させている。



小宮 克巳氏

株式会社グランドレベル スーパーバイザー

2021年6月株式会社ティップネス取締役執行役員を退任。同社では主に経営戦略、マーケティング、新規事業創出を担当し、所属19年間で5つの新規事業を立ち上げる。国家資格「フィットネスクラブ・マネジメント技能検定」公式テキスト共同執筆者。多摩大学大学院 経営情報学研究科 博士課程前期修了(MBA)。2021年7月よりアイレックススポーツライフ株式会社取締役。



菊川 裕也氏

株式会社no new folk studio 代表取締役

株式会社no new folk studio 代表取締役。一橋大学商学部経営学科を卒業後、首都大学東京大学院にて芸術工学を専攻。2014年より新しい音楽演奏用インタフェースの研究として開発を始めたスマートフットウェア「Orphe」の製品化をきっかけに株式会社no new folk studioを設立。「表現のためのIoT」をキーワードに新製品を提案していく。受賞歴にスポーツ片イノベーションリーグコンテスト大賞他。



内山 奈美氏

東京大学高齢社会総合研究機構 協力研究員
キュービー株式会社 食と健康推進プロジェクト

2007年キュービー株式会社入社、2019年より東京大学高齢社会総合研究機構に出向、産学連携の取組に従事し、フレイル予防産業創生に向けた「食の在り方研究会」事務局、フレイル予防の「栄養・運動・社会参加」三位一体の啓発と共に、食や食習慣、特にサラダとタマゴの価値訴求でフレイル予防への貢献を目指す。



乾 裕之氏

東京大学高齢社会総合研究機構 学術専門職員
イオン株式会社より出向

2013年 イオンリテール株式会社 入社
2020年4月～東京大学高齢社会総合研究機構 出向
東大10G産学連携プロジェクトにおいてフレイル予防産業創出に従事。



紀伊 信之氏

株式会社日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門
高齢社会イノベーショングループ 部長（プリンシパル）

1999年 京都大学経済学部卒業後、株式会社日本総合研究所入社。B2C 分野のマーケティング、新規事業開発等のコンサルティングを経て、2018年4月より現職。在職中、神戸大学にてMBA取得。「公的介護保険外サービス」や「介護予防」を含む介護・シニアビジネスに関わる官民の調査・コンサルティングに従事。